

1) やっぱり「廃止」しかない！

千葉地裁初の裁判員裁判に抗議の声！

千葉県でも裁判員裁判が始まり、1日目の9月14日“裁判員制度はいらない！千葉県実行委員会”で抗議・宣伝行動を行いました。朝8時、横断幕、ノボリ、旗を掲げて登場。午前中は裁判所前でピラまき行動、昼休みは裁判所周辺のデモ、午後は千葉駅前に移動し街宣行動を行いました。ピラは受取が良くて、用意した1000枚は午前中に配布し切ってしまい、急きょ500枚増刷するという状況でした。

今回の裁判では、候補者100人のうち辞退が相次ぎ、最後のくじ引きまで残った人は47人過ぎず、裁判員に選ばれた人すら裁判後の記者会見で「専門用語が多く、人を裁くので精神的に疲れた」「選ばれない方がいいと思っていた」などと裁判員制度が受け

入れられていないことが千葉でも示されていると思います。

裁判員制度は、これからの運動しだいで廃止に追い込めことができると感じています。

一方、9月26日には「市東さんの農地強奪を許すな！ 9・26千葉県三里塚集会」が開かれ、230名を超える人々が結集し大成功しました。実行委員会運動を継続していくことが確認されました。

10・11三里塚, 11・1日比谷に結集しよう

8・30総選挙で、自民党が歴史的に惨敗しました。解雇、賃下げ、倒産の嵐が労働者を襲い、失業者が急増し、社会保障を奪われ、生活基盤を奪われようとする高齢者や「障害者」などの怒りの高まりが自民党を倒しました。

代わって民主党が圧勝しましたが、民主党に期待などできません。民主党は改憲勢力であり、私たちとは相いれない立場です。民主党のマニフェストの最大スローガンは、「無駄遣いの一掃」で、道州制・民営化と解雇、賃下げ、非正規雇用化の大攻撃で、労働者民衆に襲いかかってくるのは必至です。とって代わるのは民主党ではなく私たちだ！というのが 11月労働者集会です。

現在三里塚闘争は重大な局面を迎えています。敷地内・天神峰の市東孝雄さんに対する攻撃は、ついに、第3の誘導路を市東さんの家屋、畑を取り囲む形で作るという計画まで出てきました。天神峰現闘本部破壊、市東さんの農地強奪策動を強めています。今こそ三里塚に駆けつけましょう。百万人署名運動の幟を持って登場しましょう。

10・11 三里塚全国総決起集会に大結集し、11・1全国労働者1万人結集を実現しましょう。

12・5裁判員制度はいらない！千葉県集会を成功させましょう。

2) 署名数 9/24 現在

▼9条を変えるな！19,751筆(+74)

▼裁判員制度反対1,461筆(+81)

▼星野さん再審・釈放 432筆 ▼児ポ法改悪反対23筆

▼辺野古新基地阻止76筆

3) 街頭宣伝署名(8/23~9/24)

日時	場所	人数	9条	裁判員	星野再審	ピラ
計	7回	約60	74	81	102	2880

4) 10月の予定

(省略)

5) 投稿 9/14 裁判員裁判傍聴記

OISさん(全国通信に掲載しています。ご覧ください)

ONEさん(千葉合同労組)

この裁判では、「強盗致傷」か「窃盗と傷害」かが争われているというのがマスコミの触れ込みであった。しかし、その論点はすでに公判前整理手続きにおいて整理が済んでいて、相容れない論点をめぐって法廷で争われることはなかった。

私は、傍聴の最後に止むにやまれぬ思いで、裁判長に向かって、「裁判員制度は廃止すべきだ」と抗議し、退廷となった。しかし、帰り際、傍聴の男性が「私も茶番劇だと思いました」と声をかけてくれた。

世界大恐慌はこれからさらに激化する。戦争と大失業の時代、労働者は、資本家と民主党=「連合(巨大な御用組

合)」の支配に抗して、生きるために立ち上がらざるを得ない。労働者・人民を国家権力の行使に動員し、団結を破壊する「現代の赤紙」=裁判員制度を廃止に追い込むことは必要だし、必ずできる。

OKIさん(千葉労組交流センター)

反対デモの後で傍聴に参加しましたが、本当にひどい内容でした。

検察側は「逃げる時車のアクセルを踏んだかどうか」という質疑を延々とやり、裁判員は「車で逃げる時、相手(消防士)の安全を考えなかったか？」などと奇妙な質問をしたり(逃げたい一心で、余裕なんかある訳ない!)、とんちんカンな裁判で、およそ事件の背景や事実究明とは無縁なやりとりが行われていました。「事件と関係ない質問はやめてください」と制止されるところも、裁判員ならどんな奇妙な質問をしてもOK。傍聴していた私の友人が思わず「こんなの見世物じゃないか」と発言したところ、裁判長が退廷命令、3人の廷吏に力づくで引き出されました。私も「力づくでやる裁判なんておかしい。やめるべきだ。」と発言したら私にも退廷命令。(でも廷吏は来なかった)

閉廷後、傍聴していた男性は「こんなの裁判ショーじゃないか。くだらん」と言っていたし、学生の傍聴人も「茶番だ」と怒っていました。およそ裁判などというシロモノではない。こんな制度は即刻廃止すべきだ、と改めて思いました。